



〈対談 みどりトーク〉
院長 成瀬 聡
全国老人クラブ連合会理事 石川 義成

誰かの役に立っている
という実感が
大切なんです。

〈トビックス〉 当院の先進的リハビリテーション
教えて！「ウェルウォーク」のすごさ
〈連載企画〉 みどり病院リハビリマインド V O I C E
声を掛け合い、
知恵を出し合う。
患者さんの「その先」をサポートするために

みどり病院のスタッフが
ちょっとお邪魔します。

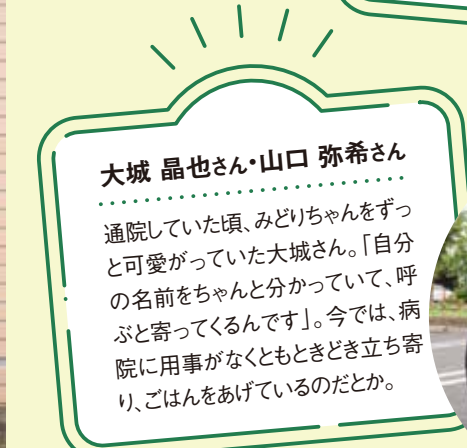
みどり病院 会議

〈第2回〉病院のアイドル「みどりちゃん」を訪ねて

当院に住まう地域のアイドル猫、みどりちゃん。とっても人懐っこく、
病院職員から患者さんまでみんなに愛されています。
地域の方からよせられた、みどりちゃんとのエピソードをご紹介します。



春日なるみちゃん・なおちゃん
みどりちゃんと一緒にベンチでパ
シャリ。ご自宅ではペットを飼ったこ
とがないとのことで、「寒い日はおう
ちに遊びに来てもいいんだよ」と、
高齢のみどりちゃんを気にかける優
しいご姉妹でした。



大城 晶也さん・山口 弥希さん
通院していた頃、みどりちゃんをずっ
と可愛がっていた大城さん。「自分
の名前をちゃんと分かっていて、呼
ぶと寄ってくるんです」。今では、病
院に用事がなくともときどき立ち寄
り、ごはんをあげているのだとか。

医療法人 新成医会

認知症疾患医療センター
〒950-0983 新潟市中央区神道寺2丁目5番1号
tel.025-244-5566

介護老人保健施設 みどりケアセンター
〒950-0983 新潟市中央区神道寺2丁目5番1号
tel.025-244-0080

介護老人保健施設 緑樹苑
〒950-0983 新潟市中央区神道寺2丁目4番24号
tel.025-244-6100

みどり訪問看護リハビリステーション
〒950-0983 新潟市中央区神道寺2丁目4番24号
tel.025-244-0147

新潟市地域包括支援センター 宮浦東新潟
〒950-0913 新潟市中央区鏡1丁目5番16号
tel.025-240-6111

医療法人 新成医会 みどり病院
総合リハビリテーションセンター

〒950-0983 新潟市中央区神道寺2丁目5番1号 tel.025-244-0080
https://www.midori-gr.jp

みどり病院 新潟

検索





成瀬 お忙しい中、ご足労いただきありがとうございます。本日は老人クラブ連合会（以下、老連）について、私自身も勉強させていただくつもりでお話を伺います。はじめに、石川さんの来歴についてお聞かせください。

石川 私はここ新潟で長年教鞭を取ってきました。38年の教職生活を終えた後、町内会の副会長職を引き受けたのをきっかけに、現在は県内4老連で会長を務めています。

成瀬 令和元年度には、全国の老連からお声がかかったとか。

石川 はい。そうになると、さすがに手が回りませんので、自治会の方はもうバトンタッチして、私は老連の業務全般を担当している状況です。

成瀬 そもそも「老人クラブ」には、どのような役割があるのでしょうか。

石川 全国の老連を見ていて感じるのは、その地域の自治会と連携が取れているほど、クラブに活気があるということ。おそらくそこに不和があると、クラブの社会奉仕活動がうまく活かされず、成瀬先生がおっしゃる地域とのつながりを得られないでしょう。

誰かの役に立っている という実感が 大切なんです。

成瀬 老連内部だけでなく、自治会や地域社会との交流を深めることが重要なですね。

石川 お互いの会合に参加し合ったり、自治会の中に老人クラブ側の代表者を置いたりといった施策を進めて、地域と良好な関係を築いていかなければ、これからの時代、老連は生き残っていないのではないかなど。

成瀬 それらは、老連の課題であると同時に、地域社会の課題でもあるようです。2025年には、65歳以上の5人にひとり認知症を発症すると言われ、もはや誰にとつても、認知症は他人事ではありません。

石川 大きく分けてふたつ。ひとつは社会奉仕です。資源回収、児童の登下校指導、地域の清掃などですね。もうひとつはレクリエーション。団体旅行、囲碁・将棋、ウォーキング、ゲートボールなど、会員同士で交流し、余暇を楽しんでいます。



成瀬 なるほど。いずれも認知症予防の観点から、非常に良い取り組みですね。社会とつながりを感じている方ほど、認知症リスクは低くなるというデータ

石川 ええ。認知症は決して特別なものでも、忌避すべきものでもなく、日常にくく普通にあるものとして考えなければいけないと思っています。

成瀬 だからこそ、より若い世代も含め、地域の一人ひとりやそれぞれの自治会、そして私たち医療人を含めた社会全体が、高齢者コミュニティと共に歩んでいく必要がありますね。

がありますから。

石川 ただ、コロナ禍で多くの催しは中止が相次いでいます。かねてより全国的な課題だった、会員数の減少にも拍車がかかってしまいました。

成瀬 高齢者の数は年々増え続けていますが、老人クラブの会員数は減少しているのですか？

石川 はい。要因としては、さまざまな娯楽の普及に加え、まだまだ働ける健康な前期高齢者が増加したことも挙げられるかと。

成瀬 コミュニティへの所属を必要としない高齢者が増えているということですね。一見すると良いことのようにも思えますが、このまま老連の役割が縮小していくと、認知症対策の観点からは不安があります。交流の場存続のため、打つ手はあるのでしょうか？

私たち医療人も含めた
地域社会全体で、高齢者の
コミュニティと共に歩んでいく。



成瀬 聡 院長
1986年新潟大学医学部卒業。医学博士。日本神経学会神経内科専門医・指導医、日本認知症学会専門医・指導医。院長としての業務に携わりながら、週2回、脳神経内科・ものわすれ外来を担当。



認知症とは
特別でも、忌避すべき
ものでもない、日常のもの。



石川 義成氏
1958年新潟大学教育学部卒業。教職生活38年。退職後、自治会長を16年務める。現在、下所島高砂会、及び鳥屋野地区・中央区・新潟市老連で会長。全国老人クラブ連合会理事。新潟日報「窓」投稿100回。趣味は卓球と家庭菜園。



副院長 矢島 隆二

副院長としての業務に携わりながら、脳神経内科を担当している。「もの忘れ外来」では、初期の認知症の相談から生活の支援に至るまで、患者さんとご家族のケアに取り組んでいる。

近年、患者数が大幅に増加しているパーキンソン病は、多彩な症状を呈する疾患です。振戦や歩行障害などの運動症状のほか、便秘・起立性低血圧などの自律神経症状、認知機能の低下、幻覚・妄想・抑うつなどの精神症状、睡眠障害などがみられます。これらの治療には投薬の他、早期からの嚥下機能評価・リハビリテーションの有用性が注目されています。

当法人では、神経内科外来や障害者施設等一般病棟での診療を軸に、認知症サポートチーム・栄養サポートチーム・褥瘡ケアチームなど多職種が介入。相談員のサポートや、各種セラピストによるリハビリテーションが受けられます。併設の老健・訪問看護ステーションと

verde <ヴェルデ：コラム>

column パーキンソン病診療のご紹介

入院の相談はお気軽に 多職種の専門家が連携して 治療・リハビリにあたります

も連携して、患者さんやご家族、連携医療機関の要望に応じた最適な環境を整備。レスパイトを含めた入院期間の要望にも可能な範囲で応じています。なお、パーキンソン病の専門的な治療として「局所のジストニアへのボツリヌス治療」や「デュオドーパ®の導入・管理」も行っています。

パーキンソン病の初期診断から終末期対応まで、お困りのことがございましたら、どうぞお気軽にいつでもご相談ください。

総合リハビリテーションセンター
みどり病院地域医療連携室
Tel 025-244-0168(直通)
E-mail m-sodan@midori-gr.jp
(平日 8:30～17:30 土曜日 8:30～12:30)

循環器内科

田邊 靖貴

専門分野
循環器内科 内科

資格・認定医
日本循環器学会循環器専門医
日本内科学会内科認定医

リハビリテーション科

和泉 由貴

専門分野
リハビリテーション科

資格・認定医
日本リハビリテーション医学会
リハビリテーション科専門医

脳神経内科

徳武 孝允

専門分野
認知症、神経内科

資格・認定医
日本神経学会神経内科専門医
日本認知症学会専門医

リハビリテーション科

宮入 暁子

専門分野
リハビリテーション科

資格・認定医
日本リハビリテーション医学会
リハビリテーション科専門医
日本リハビリテーション医学会
リハビリテーション科指導医

◎非常勤医師の紹介

消化器内科

高橋 弘道

琉球大学医学部2005年卒

専門分野
消化器内科

資格・認定医
日本内科学会総合内科専門医
日本消化器病学会消化器病専門医



内科・呼吸器内科

松山 弘紀

宮崎医科大学医学部2000年卒

専門分野
呼吸器病学

資格・認定医
日本内科学会総合内科専門医
がん治療認定医指導医



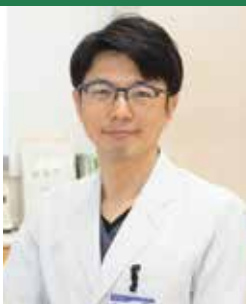
内科

笠見 卓哉

滋賀医科大学医学部2012年卒

専門分野
血液内科

資格・認定医
血液専門医



副院長・脳神経内科、リハビリテーション科

川村 邦雄

自治医科大学医学部2000年卒

専門分野
内科 脳神経内科
リハビリテーション科

資格・認定医
日本内科学会総合内科専門医
日本リハビリテーション医学会
リハビリテーション科専門医



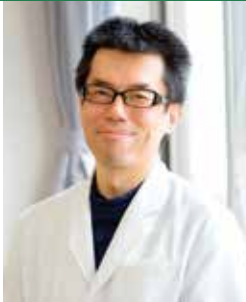
副院長・脳神経内科

矢島 隆二

新潟大学医学部2004年卒

専門分野
認知症 脳神経内科

資格・認定医
日本神経学会神経内科専門医
日本神経学会神経内科指導医
日本内科学会総合内科専門医
日本認知症学会専門医
日本認知症学会指導医
新潟市認知症サポート医
日本リハビリテーション医学会認定
臨床医



診療部長・内科・消化器内科

佐藤 剛司

山形大学医学部2001年卒

専門分野
内科 消化器内科

資格・認定医
日本内科学会総合内科専門医
日本消化器病学会消化器病専門医
日本消化器内視鏡学会
消化器内視鏡専門医



院長・脳神経内科

成瀬 聡

新潟大学医学部1986年卒

専門分野
認知症 脳神経内科

資格・認定医
日本神経学会神経内科専門医
日本神経学会神経内科指導医
日本認知症学会専門医
日本認知症学会指導医
日本内科学会認定医
日本認知症予防医学会評議員
新潟市認知症サポート医



名誉院長・リハビリテーション科

佐藤 豊

新潟大学医学部1974年卒

専門分野
リハビリテーション科

資格・認定医
日本リハビリテーション医学会
リハビリテーション科専門医
日本リハビリテーション医学会
リハビリテーション科指導医
日本リハビリテーション医学会認定
臨床医



副院長・内科、呼吸器内科

齋藤 泰晴

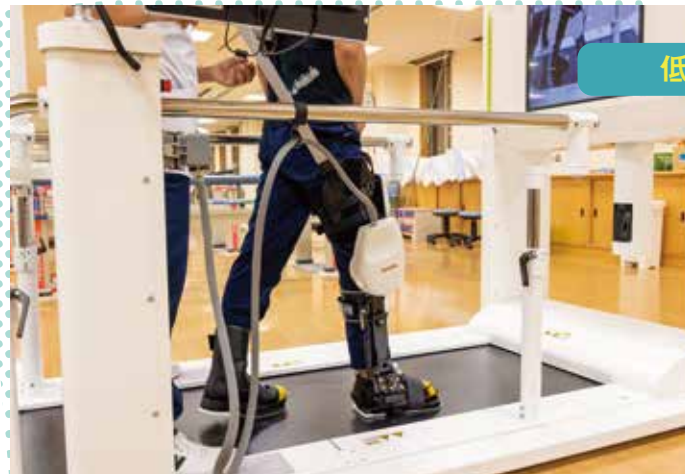
佐賀医科大学医学部1988年卒

専門分野
呼吸器病学 一般内科

資格・認定医
日本内科学会総合内科専門医
日本呼吸器学会専門医
日本静脈経腸学会認定医



◎医師の紹介



低下した運動機能をサポート!

動かしにくい部分を機械の力で徹底サポート。重度の麻痺の患者さんでも、早期から歩行練習を始めることができます。また、従来の装具よりも自然な歩行姿勢が取れるため、より正常に近い歩き方を覚えることができます。

教えて!

新潟市内初導入!

ウェル

verde topics
〈連載企画〉

vol.2

ウォークの“すごさ”

当院の先進的リハビリテーション

歩行機能障害からの回復を目的とした、リハビリ支援ロボットです。藤田医科大学とトヨタ自動車によって共同開発されました!

トヨタ自動車の技術が生んだロボット!

／ ウェルウォークのココがすごい! ／

楽しい機能でリハビリを応援!

ウェルウォークには、リハビリの動作をそのまま活かしたゲーム機能も搭載。スコアアップを目指す感覚で、遊びながら取り組むことで、患者さんのモチベーション維持を応援。長期間のリハビリにも楽しく向き合えるようサポートします。



センサー類が動作をチェック!



姿勢や動作の分析結果を、映像と音でフィードバック。患者さんは、リアルタイムに自身の動きを確認しながら練習ができます。また、センサーが収集する科学的データによって、私たち療法士も、より質の高い治療をご提案することが可能になりました。



リハビリテーション科 副科長
浜辺 政晴

ウェルウォークは患者さんの自信に繋がるとても有用なツールです。



リハビリテーション科
土田 茂人

ウェルウォークを活用して、患者さんへより最適な歩行練習を提供していきます。



みどり病院で最多の112床を有する「回復期リハビリ病棟」。主に脳梗塞・脳出血などの脳血管障害、大腿骨・腰椎の骨折など、急性期の治療が終了した患者さんに対し、集中的なリハビリテーション医療を行っています。本号では、みどり病院のリハビリについて、専門スタッフの皆さんにお話を伺いました。

和泉医師

『回復期リハビリ病棟』では、医師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、看護師、介護福祉士、管理栄養士、薬剤師、医療ソーシャルワーカーという9職

種の専門スタッフが、患者さん一人ひとりに合わせたリハビリ治療を行っています。

『リハビリ＝体を動かすもの』だと思われがちですが、体の機能だけ

でなく、心の部分に対してもアプローチしています。本人と社会を繋ぐため、リハビリ科医を中心としたチームが患者さんごとにゴールを設定し、方針を決めています。回復期リハビリ病棟と一般の病院で、患者さんとの関わり方は違いますか？

野村看護師長

回復期リハビリ病棟の患者さんは、病気の治療が終了しても障害が残ってしまう方が多くいらっしゃいます。我々看護師は、健康管理はもちろん精神的なフォローも行い、安心してリハビリに取り組めるよう努めています。同時に、退院後のことを見据えた介護者であるご家族のフォローも大切です。また、二人の患者さんに多くのスタッフが関わるため、連携がカギとなります。連携の中心的役割も、我々看護師が担います。

多職種で関わるということは、お互いの情報共有が必要ですね。

河西理学療法士

そうですね。例えば理学療法士は、日常生活に不可欠な「立つ、歩く」ためのリハビリをします。リハビリの成果を病棟生活でも活かすには、看護師・介護福祉士との情報共有が欠かせません。

言語聴覚士は嚥下機能※のリハビリを行う中で、患者さんの食事内容が最適かどうか、管理栄養士と話し合います。このように職

種間で毎日コミュニケーションを取りながら『明日はもっと良くしよう』の精神で取り組んでいます。



合い、復帰後の業務内容などについて相談します。大切なのは、患者さんご家族の不安を把握し、希望をしっかりと聞くことですね。

河西理学療法士

退院後の生活に困らないように、入院中に療法士が患者さんのご自宅に伺い、どこに手すりが必要か、どう動くと安全かを確認します。リハビリの効果が落ちないように、どんな介護サービスを取り入れるかを提案することもあります。

入院から退院まではもちろん、さらにその先の人生までサポートすべく、みどり病院では9職種が協力して知恵を出し合います。そんなチーム力の高さが、みどり病院の強みです。

スムーズな連携の秘訣は

何でしょうか？

野村看護師長

職員同士が声をかけ合って暖かい雰囲気をつくり、コミュニケーションを取りやすくなることが、日々の連携に繋がっていると感じます。若手の職員には、部署を問わず先輩からこまめに声をかけるようにしています。患者さんにとっても、そこで働く職員にとっても暖かい病院づくりを心がけています。

和泉医師

当院の回復期リハビリ病棟は、10代の方から100歳を超える方まで、年齢も症状も幅広く受け

阿部管理栄養士
栄養科は、患者さんの体調や運動量に合わせ、リハビリ科と食事内容を検討します。嚥下障害がある方にはペースト状のものを用意したり、患者さんが食事に疲労を感じない分量にしたりと、細かな調節が大切です。そうした中でも低栄養にならず、しっかりと筋力がつくよう、患者さん一人ひとりの健康状態に注意しています。

障害を抱えた患者さんは、

自宅に帰る際とても不安なのは？

坂本医療相談員

当院の患者さんには、必ず担当の医療相談員が一名つきます。相談員は、退院後の生活に必要な在宅医療・介護サービスや行政制度を、患者さんご家族に提案します。患者さんが職場復職を目指す場合は、職場の方々と連絡を取り

入れを行っています。患者さんそれぞれゴールも違います。だからこそ二人ひとりの患者さんに寄り添って治療を進めています。遠方から転院されてくる患者さんも増えており、中には佐渡市からリハビリ目的で来られる方もいます。『退院した患者さんからの口コミでみどり病院を希望した』と聞くと、我々スタッフはとても励みになります。

※嚥下機能：食べ物を飲み込む力のこと。嚥下障害は、筋力低下や神経の異常など、さまざまな原因で口の中のものをつまぐ飲み込めなくなること。



※写真撮影のため、一時的にマスクを外しています。当院ではマスク着用を徹底しております。



施設概要

名称

ブラーカ中村クリニック

開設

平成20年4月12日

所在地

〒950-0911 新潟市中央区笹口1-1
ブラーカ1・2階
tel.025-240-0426
fax.025-240-0908

診療科目

内科、消化器内科、乳腺外科、
肛門外科、人間ドック、訪問診療

外来受付

月曜～土曜

時間

8:00～13:00／月、火、水、木、金、土
15:00～17:30／月、火、木、金
18:00～20:00／火



A **Q**

先生の座右の銘、趣味は？
行くに小径に由らず。何かを成すとき、裏道や小道を通ることなく、常に正々堂々としていなさい、という論語の教えです。趣味は料理、剣道のほか、家内と日帰り温泉に行くことです。

A **Q**

診療所の特徴を教えてください。
新潟駅すぐそば、ジユンク堂書店の上階にあるクリニックです。地元の開業医として、訪問診療にも積極的に取り組んでいます。また、在宅医療にかかわる多職種の情報交換の場「在宅よもやま会」を毎月開催しています。

A **Q**

診療科目と方針を教えてください。
中村茂樹（院長・外科）、中村隆人（副院長・内科）の親子2世代体制で、一般内科のほか、内視鏡、乳腺超音波、肛門診療、人間ドックなど、幅広い診療をしています。モットーは「苦痛の少ない診療」「がんの早期発見」「患者様に共感する心」です。

院長 中村茂樹先生に聞きました。

連携医療機関の紹介

2



新潟市
中央区

ブラーカ
中村クリニック



1



2



3



4

絵：M・Tさん（燕市 中学1年生）

燕市に住んでいる中学一年の女子です。部活は卓球をしていますが、絵を描くことが好きで、今回絵を描かせて頂きました。認知症という病気があることは知っていましたが、絵を描いてみて、一緒に住んでいる人の大変さを知りました。この絵をみて、たくさんの人に認知症の症状を知ってもらえたらいいと思います。

お問い合わせ

みどり病院 認知症疾患医療センター tel.025-244-5566 fax.025-247-1005

マンガで分かる!

認知症
のこと

テーマ

『物盗られ妄想』

漠然とした不安や焦りから、認知症の人は貴重品を大事にしまい込む傾向があります。時間が経つと、片付けた場所はもちろん、片付けたこと自体を忘れてしまい「誰かに盗まれた」と考えてしまうのです。

家族(周囲の方)へのアドバイス

身近にいる人が疑われやすいため、不愉快に感じたり、つらい思いをしたりするかもしれません。ですが、こうした妄想は認知症の初期～中期にかけて現れる一時的なもの。「一緒に探そう」と声をかけるなど、まずは本人の不安な気持ちを受け止めてみましょう。

- 不安や焦り、被害的な感情が要因
- 頭ごなしに「盗むわけがない」と否定しても、本人の思い込みは変わらない
- 不安の解消には、気分転換が有効です
さまざまなサービスを活用しましょう